



ニセコの展望

夏の季節の濃緑につつまれていたニセコ連山のなかで
ひとり異なる裸地の山容を現わしているイワオヌプリ
(一、一五四m)のいたただきから眺望である。

ここはが礫を裸出し、大小さまざまなかたちの岩石
におおわれ、その色彩は白、黄、赤、茶、青黒色と
いりみだれており、はげしく荒れていたたり、静かに
なだらかにおさまる相を呈している。

周囲はまことよい景観で、東のかたに主峰・ニセ
コアヌプリが重厚な山容を誇り、山頂への登山道
路は美しい線を示し、ながいすそは高原から麓にと
つながって、紅葉に輝やく色彩は、宝石をチリパメ
たように楽しませてくれる。

はるかかなたには洞爺湖が望まれ、昭和新山や有珠の
奇峰が青色に姿をみせてくれるかと思えば、眼下の麓
は豊饒な稔りの耕地がひろがり、その巾を一条の帯と
なって、尻別川がゆるやかに大きくうねっている。

反転すればニセコの左肩に後方羊蹄山がのぞき、石
狩への山々、神威岬にいたる積丹の山稜が展がり、
近くにはワイスホルンのスロープ、点々と配される
カバの樹林、さらに大沼の山湖が静かにねむってい
る。

西のかたにはコイワオ、ニト、チセヌプリ、シヤク
ナゲ山、目国内、雷電岳、そして日本海がのぞまれる
この俯瞰する山容の変化と山肌を彩どる紅葉は、じ
ゆうぶんに感動を与えてくれている。

谷 口 一 芳

<春陽会準会員>